

2025 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 g u m i
代 表 者 名 代表取締役社長 川 本 寛 之
(コード番号：3903 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 本 吉 誠
(TEL. 03-5358-5322)

(開示事項の経過) 上場暗号資産運用のファンド組成に関するお知らせ

当社は、2025 年 6 月 11 日開催の取締役会において、SBI ホールディングス株式会社（以下「SBI」）と共同で上場暗号資産の運用ファンド（以下「本ファンド」）を組成することについて決議しました。この度、下記のとおり経過事項がありましたので、お知らせいたします。

記

1. ファンドの進捗状況

当社は、子会社である株式会社 gC Labs を通じて、SBI ファイナンシャルサービシーズ株式会社と合併で本ファンドの営業者となる「合同会社 SBI Crypto Fund」を設立し、2025 年 9 月 25 日付で関東財務局への適格機関投資家等特例業務の届出を完了させました。本ファンドの名称は「SBI Crypto Fund I 匿名組合」となります。現在、2025 年末からの運用開始に向けて、組成および運用開始に向けた準備が順調に進捗しております。

本ファンドは、上場暗号資産を対象としたアクティブ運用型ファンドであり、gumi グループがこれまで培ってきた暗号資産の運用の知見と、SBI グループが有する金融領域での高度なリスク管理・運用ノウハウを融合させるものです。

2. ファンドのミッションと運用方針

本ファンドは、「Web3 業界のイノベーションフロンティアへの投資及び流動性提供によって最先端の金融エコシステムと日本企業の橋渡しをする」ことをミッションに掲げ、ビットコイン（BTC）や主要アルトコイン等の上場暗号資産を中心に、DeFi・ステーキング・リバランス・ヘッジ戦略を総合的に活用することにより、3 年間で投資倍率（MOIC）2～6 倍を目指します。

また、日本国内でも暗号資産 ETF の解禁が現実味を帯びてきており、本ファンドはその市場形成を見据え、実運用を通じたデータと実績の蓄積を行い、リーディングカンパニーとして中核を担うポジションの確立を目指します。

3. SBI との協業領域の拡大

当社は、2022 年 12 月に締結した SBI との資本業務提携契約を通じて、ブロックチェーン領域において複数の共同プロジェクトを推進してまいりました。これまでに、トークン経済圏の構築を目的に、暗号資産取引所である BITPOINT にトークン「OSHI」が上場され、「OSHI3」プロジェクトを共同で取り組んでまいりました。また、直近では上場暗号資産運用ファンドの共同組成に加え、今後展開を予定している「ネオメディア」構想など、金融×エンタメ×ブロックチェーンの融合を軸に、新しい価値創出に向けた連携を強化しております。

本ファンドは、これら一連の取り組みの延長線上に位置付けられるものであり、SBI グループとのシナジーを最大化する形で、持続的な成長と新たな金融市場の創造を目指します。

SBIとの連携事業



4. 業績への影響

本件による現時点での業績への影響は軽微ですが、投資損益の発生等、今後開示すべき影響があった場合には別途お知らせいたします。

※本お知らせは、当社及び当社グループにおける事業活動の広報を目的とするものであり、将来の本ファンドの運用成果を示唆・保証するものではありません。

以 上